

令和 7年 1月 20日

報道機関 各位

【1/22】山陰研究交流会
「災禍の時代に文学ができること
——3.11後のラフカディオ・ハーンから考える」開催

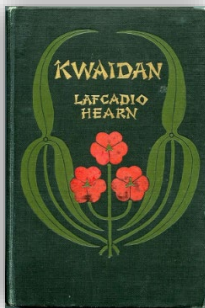
◆本件のポイント！

・法文学部山陰研究センターの研究活動から、毎月1テーマずつわかりやすく成果をお伝えします

◆本件の概要

震災、コロナ禍、戦争をはじめ現代は多くの危機が重なり合う「災禍の時代」と呼ぶうるものです。ラフカディオ・ハーン(小泉八雲)の14年間の日本時代もまた、明治三陸地震津波、コレラ、日清戦争など様々な災禍に見舞われました。この「重なる」という感覚から生まれる繋がりを頼りに、ハーン作品の再読や活動の報告を通して文学の力を確認したいと思います。

◆本件に関する写真



◆概要内容

【日 時】2025年1月22日(水) 16:00~17:30

【テ ー マ】災禍の時代に文学ができること——3.11後のラフカディオ・ハーンから考える

【発 表 者】宮澤 文雄(島根大学法文学部・准教授)

【開催方法】Zoomによるオンライン(要事前申込み)

◆本件の連絡先 ※[at]は@に置き換えてください

島根大学法文学部山陰研究センター

電 話:0852-32-9833 / メール:admin-src[at]soc.shimane-u.ac.jp 案

内 HP: <https://www.src.shimane-u.ac.jp/docs/2024092600014/>



◇その他

取材につきましてはミーティング URL をご案内いたしますので連絡先にご連絡ください。
開催前日や対面での取材につきましても対応いたします。

【添付資料: ■あり(1 枚) □なし】

2024年度 山陰研究交流会



参加無料・オンライン

山陰研究交流会では、現時点での研究成果を報告し、それをもとに議論を行うことで、プロジェクト間の研究交流を推進しています。同時に、分かりやすく焦点を絞った話をしていただくことで、専門分野の人にも研究内容について理解を深めてもらうことを目的として、継続的に開催するものです。

参加無料です。どなたでも、お気軽にご参加ください。

● 日時

2024年10月23日(水)～2025年1月22日(水) (全4回)

いずれの回も 16:00～17:30

● 参加方法

ホームページ掲載の申込み方法をお読みいただき、各開催日の前日までにお申込み下さい。

【問い合わせ先】

島根大学法文学部山陰研究センター
〒690-8504 島根県松江市西川津町
1060 [電話]0852-32-9833

57

2024年

10/23

行政は地域住民組織をどう支援できるのか？ — 島根県や原発被災地を事例に考える —

発表者：関 耕平 (島根大学法文学部)

@山陰研究共同プロジェクト「コミュニティ・エンパワメントと地方財政—ソフト事業の制度設計をめぐる—」

58

11/27

戦争遺跡と考古学会コミュニティ

発表者：岩本 崇 (島根大学法文学部)

@山陰研究プロジェクト「戦争遺跡の調査・保存活用と学術知の公共化をめぐる学際的研究」

59

12/25

近世山陰の実録が語る虚と実

発表者：田中 則雄 (島根大学法文学部)

@山陰研究プロジェクト「山陰の文学・歴史関係資料の基礎的調査研究と発信・公開に関するプロジェクト」

60

2025年

1/22

災禍の時代に文学ができること — 3.11後のラフカディオ・ハーンから考える

発表者：宮澤 文雄 (島根大学法文学部)

@山陰研究プロジェクト「〈震災後〉のラフカディオ・ハーン：霊性の文学の再評価と文化資源化への応用」